

講義名	社会問題論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	水野 英莉		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

私たちが暮らす社会にはさまざまな問題があります。社会とのかかわりの中でその問題をとらえるとき、それは「社会問題」として私たちの前にあらわれます。今年度の講義では、現代日本社会にどのような問題があるのか、その問題の背景は何か、そしてその改善や解決の方策はどのようなものがあるか考えます。

前半はとくにジェンダーやセクシュアリティの問題、後半はエネルギー・環境問題について扱います。

到達目標

1、現代日本社会の問題を知る
2、広い視野を持つ
3、「弱い立場」に立ってものを見る

提出課題

講義時に何回か課題が出されます。欠かさず提出する必要があります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

レスポンスやワークシートで提出したコメントや質問に、教員からフィードバックします。

評価の基準

提出課題およびコメント提出で総合的に判断します。

履修にあたっての注意・助言他

教科書を指定しないので、講義に集中してのぞみ、自分でノートを作る必要があります。社会学の知識が必要になりますので、社会学基礎や社会学概論の履修を強く推奨します。Responというアプリを使用して、出席確認、コメント提出をします。速やかに準備を整えること。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献

講義中に資料を配布します。参考文献は適宜指示します。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 ジェンダー1
- 3 ジェンダー2
- 4 性の多様性1
- 5 性の多様性2
- 6 性の多様性3 - ゲスト講師より
- 7 性の多様性4 ゲスト講師より
- 8 性の多様性5 まとめ
- 4 セクシュアリティについて
- 9 環境問題について考える
- 10 映像視聴
- 11 映像視聴
- 12 映像視聴
- 13 環境問題について考える ゲスト講師より
- 14 環境問題について考える ゲスト講師より
- 15 まとめ

受講生の理解度と関心に応じて柔軟に対応するので、計画通りにはならないことがあります。また、オンラインでの講義の場合、予定通りにはならないことがあります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/>	ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク
<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義時にその都度指示します。課題作成と復習で60時間。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

レスポンスを使ってコメント、質問を提出。VTR視聴をし、ワークシートを作成。翌週、それぞれに対し全体でフィードバック。

実務経験の有無及び活用

備考